



報道機関 各位

記者発表資料

令和元年6月28日(金)

問い合わせ先：オリンピック・パラリンピック部

参事：竹内

担当：石井出、田中、田口

電話：829-1030 内線：2247

雪で観戦客の暑さ対策！

～東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて
南魚沼市と共同で熱中症予防対策実証事業を実施します～

東日本連携都市並びに友好都市である南魚沼市と共同で、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における観戦客の暑さ対策として、雪を活用した熱中症予防対策実証実験を、大会1年前となるこの夏、サッカーとバスケットボールの競技会場となる埼玉スタジアム2002及びさいたまスーパーアリーナ周辺で行います。

また、本事業が環境省の「令和元年度熱中症予防対策ガイドンス策定に係る実証事業」に採択されました。

1 実施日時、会場(予定)

- (1) 令和元年 8月4日(日) 13:00～19:00 埼玉スタジアム2002周辺
明治安田生命J1リーグ第21節 浦和レッズ vs 名古屋グランパス
- (2) 令和元年 8月25日(日) 12:00～19:00 さいたまスーパーアリーナ周辺
バスケットボール日本代表国際試合 International Basketball Games 2019
バスケットボール女子日本代表国際試合 三井不動産カップ2019

2 内容(予定)

- (1) 南魚沼市による雪テントの設置、スノーパットの配布
- (2) ミスト装置や休憩テント設置
- (3) 芝浦工業大学の協力による、暑さ指数(WBGT)の測定 など

※荒天などで、中止又は変更となる可能性があります



サッカーとバスケットボールの開催会場
さいたま市

東京2020オリンピック競技大会
2020年7月24日～8月9日

東京2020パラリンピック競技大会
2020年8月25日～9月6日



熱中症予防対策の効果検証方法（予定）



②ミストファン＋スノーパック

最寄り駅



会場

雪



①雪のクーラー設置



最寄り駅から会場までの導線上や周辺で暑さ対策を実施。

①テント内を雪のクーラーで冷房し、通路として利用いただくことで「冷房されたトンネル内を通過する」イメージ。通路内の一部にテーブル・イス等を設置して、休憩所を設置。

②他にも、ミストファン及びスノーパックの配布によるクールダウンを実施。

クールスポットの効果検証を行うために、暑さ指数（WBGT）の測定を、芝浦工業大学・増田研究室の協力を得て実施する。



①暑さ指数（WBGT）の計測、②サーモグラフィーによる計測、③アンケートによる感想の方法によりデータ収集。

例1）雪のクーラーで冷房したテントとしないテントで、それぞれの暑さ指数（WBGT）を計測しデータ比較。

例2）「何もしない」、「ミストファンのみ」、「スノーパックのみ」、「ミストファン＋スノーパック」などパターンを変えて、サーモグラフィーで体温を測定。

南魚沼市との「東日本連携による雪を活用した熱中症予防対策実証事業」に関するさいたま市長コメント

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催まで残すところあと1年となつてまいりました。

本市では、オリンピック競技が2競技開催され、埼玉スタジアム2002でサッカーが、また、さいたまスーパーアリーナではバスケットボールが開催されます。

現在、大会組織委員会等の関係機関と大会開催に向けた準備を進めておりますが、観戦客の暑さ対策は喫緊の課題となつており非常に頭を悩ませていたところです。

そのような中、昨年11月に開催した「第4回東日本連携・創生フォーラム in さいたま」の中で、南魚沼市の林市長より雪を活用した暑さ対策という大変興味深いご提案を頂いた事がきっかけとなり、両市によるオリンピックに向けた連携事業として、今夏の実証実験の実施に向けた検討を重ねており、実施にあたり一般社団法人ゆきぐに利雪振興会や芝浦工業大学の皆様もご参画頂く運びとなりました。

更には、この度、本事業が環境省の実証事業として採択されたと伺い、東日本連携都市並びに友好都市である南魚沼市との連携をきっかけとして、様々な関係機関とのネットワークが広がり、大会本番における暑さ対策の実施に向けて万全の体制が構築できたことを大変心強く思っております。

本事業を通じて、南魚沼市の魅力を世界に発信していきたいと考えております。

引き続き、東京オリンピック・パラリンピックを契機として、それぞれの強みや持ち味を活かしながら、連携、友好を深めていきたいと考えております。

「東日本連携による雪を活用した熱中症予防対策実証事業」 に関する南魚沼市長コメント

これまで、雪の魅力を世界に発信するために、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会で雪を活用した暑さ対策の実施について、取り組みを進めてまいりましたが、このたび、さいたま市との共同実施を計画していた「東日本連携による雪を活用した熱中症予防対策実証事業」が環境省の実証事業に採択されることとなりました。

昨年 11 月に、さいたま市が開催した「第 4 回東日本連携・創生フォーラム in さいたま」において、雪を活用した暑さ対策を提案させていただいたことがきっかけで、両市による連携協議を進めてまいりました。

今夏に実施する実証実験の内容につきましては、これから細部を詰めていくこととなりますが、実証事業により、芝浦工業大学の皆さまとも連携することで、これまで以上に有効な暑さ対策につなげることができると考えております。

本事業により、さいたま市と南魚沼市の連携がさらに深まることを期待することはもちろんですが、東日本には多くの積雪地が存在することから、雪の魅力を発信することで、さいたま市が中心となる「東日本連携」の取組みがさらに活性化することに貢献できればと考えております。